

聲明書

我泉州聯合會が刷新運動に奮起する理由と動機を同志諸君に激す

吾泉州聯合會は今や日本労働運動の危機に際會して奮然と立つて我等同志を同じくする諸君に訴へざるを得ない場合に立ち至つたるを聲明す
抑も吾聯合會は最初労働革新進會と稱し總同盟の精神を尊重し堺市に基礎を置き泉南泉北の各地に深き根を張り徹頭徹尾階級的労働組合として泉州の地に自他共に許す労働運動の中堅となりて健實に成長し來たつた然し乍ら泉州の地に現在の如き微々たるながらも聯合會として存在し來つた根本は我等の主張が純全たる經濟運動であつたからであるのみならず階級的労働組合であり且大衆的であつたものに外ならない然るに今や同じ合同主義を採する同一組織體の總同盟の中に二つの相異なる指導精神の存在し而も其れは今や互に確執して睨み合はせる醜態を發露する悲慘事に到着せる事を自覺するに在り而も其れは今や互に確執しては何ぞや一つは總同盟のかつて探り來つた階級階級之仲にあつていかにして新興階級の大家を結合し如何にして斯の大家を労働運動の眞精神に導くか云々一説と他の一つは階級の必要を稱して階級階級の大家を結合し如何にして斯の大家を擁護して同志を賣り最後は小數幹部の私利に委して自己の野心を遂げんとする精神である此の二つの分岐點に相會した吾泉州聯合會は己の道を違ふべきか違ふ途もなく我等は從來取り來つたる態度に斷じて變りはない如何に吾等は勢力微々たる云々へ其大衆をして否組織されたる新興階級を其の間違つた方向に向ふて横手をおし遂には其れを骨抜きにして仕舞つて迄も個人的慾望を遂げんとする横着極まる官僚的獨裁者に加盟し相親み來たる泉州地方の同志を賣る云々云々は斷じて出來得ないのである且又我等は是れを以て最大の恥辱とす我聯合會は去る四月十二日委員並に理事を召集し此の二つの何れを選ぶべきか云々委員會議事を開いた時に誰一人もして後者に附隨して行くべし云々云々は無くのみならず事項を上げて各委員理事に指示した時同者は何然として涙をのんだのである然らば其事項とは何ぞや

- (一) 泉東内紛問題の發展より處分に至る過程經過
- (二) 全國大會三日目の幹部派の探りたる火事犯的態度
- (三) 組織改革委員會に於ける中央委員選出方法公表の後大會に於ける選出方法のあやまれる事等以上の如くであつた

我等は右の事項を想像する時大體に於て現在の最高幹部の内二三を除く外悉く墮落した協同主義的改良論者となりて資本家の從僕たらんし意のまゝにならざる組合を不都合なりと除名する點に於て止に彼等は政府ブルジョアに共同戦線を取りつゝある云々云々は明かに立證が出來得るのである又全國大會第三日目をしてかく斷じた理由や自己の野心を満たすに都合よき様になすべき陰謀を以て議事の進行を阻害して短時間の内に總同盟精神の骨子たる最大議案なる規約の改正を棄り去つた如き又總同盟の總ての決議事項を執行し行ふべき中央委員の選出さるゝ自己の野心を満たさんかために火事犯的に制定したる如きは實に吾聯合會としては默認するわけに斷じて出來得ないのである我等此處に於て右の事項を徹底的に現在幹部に向ふて再審議する事を要求し此の問題を惹起さし得た所の幹部に其責任を明かになさしむべき事を要求し腐敗墮落した幹部を一掃する事をこゝに決議聲明す起て全國の兄弟諸君刷新運動に加盟して猛進せよ

大正十四年四月二十六日

日本労働總同盟
泉州聯合會
堺合同労働組合
阪南鐵工労働組合
泉州労働組合
事務所 堺市北旅籠町東一丁